

# 地域おこし協力隊活動報告

金山の里・大ヶ生地域における  
山里暮らしの継承支援

盛岡市農林部農政課所属  
大ヶ生地域担当 山代森



## 大ヶ生地域

盛岡市内から車で30分、距離にして15キロほど離れた、山に囲まれた小さな集落。上大ヶ生と下大ヶ生、二つの自治会がある。世帯数は合わせて150ほど。

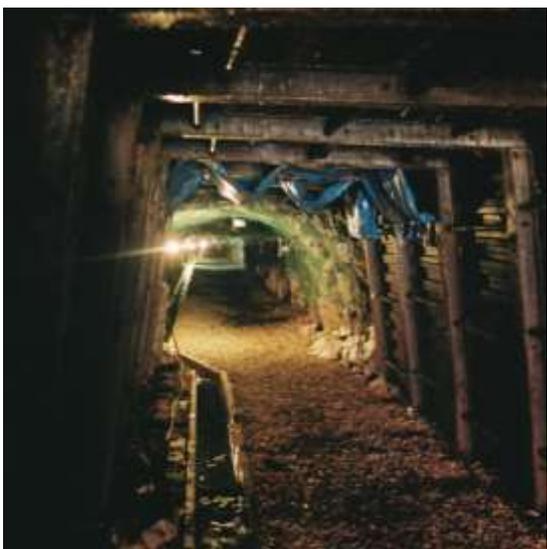


## 大ヶ生金山

明治三六年の発見から、戦争で休山する昭和十七年まで稼働していた金山。最盛期は従事者が四百名を超え、東北一の精錬所として栄えた。現在もその坑道跡を見ることができ。

## こあらかまど

大ヶ生地域に建つ、築百年を超える南部曲がり家を協力隊の活動拠点であり、生活の拠点。ここでの暮らしも活動の一つ。



一年目の活動（令和三年十月～令和四年九月）



- ・ 農作業支援
- ・ 一人世帯の生活支援
- ・ 大ヶ生山伏神楽参加
- ・ 樹皮の工芸品製作
- ・ 地域行事参加
- ・ 映画上映会開催
- ・ 地域の記録撮影
- ・ 地元情報誌へ連載
- ・ 狩猟免許取得
- ・ 雪あかり開催

- ・ 冊子おさがゆう作成
- ・ 野菜栽培
- ・ チェーンソー講座
- ・ 機織教室参加
- ・ 特産品の販売PR
- ・ こあらかまど催物
- ・ 合併記念行事活動発表
- ・ 県外視察

二年目の活動（令和四年十月～令和五年九月）



- ・ 農作業支援
- ・ 一人世帯生活支援
- ・ 大ヶ生山伏神楽
- ・ 樹皮の工芸品製作
- ・ 地域行事参加
- ・ 映画上映会開催
- ・ 地域の記録撮影
- ・ 地元情報誌へ連載
- ・ 狩猟活動
- ・ 雪灯り開催

- ・ 冊子おさがゆう作成
- ・ 野菜栽培
- ・ 味噌づくり
- ・ 盛岡市農業まつり出店
- ・ 食品安全講習
- ・ 刈払機安全衛生講習

三年目の活動（令和五年十月～令和六年九月）



- ・ 農作業支援
- ・ 一人世帯生活支援
- ・ 大ヶ生山伏神楽
- ・ 樹皮の工芸品製作
- ・ 地域行事参加
- ・ 映画上映会開催
- ・ 地域の記録撮影
- ・ 地元情報誌へ連載
- ・ 狩猟活動
- ・ 雪灯り開催

- ・ 味噌づくり
- ・ 盛岡市農業まつり出店
- ・ 中型自動車免許取得
- ・ お餅つき会開催
- ・ 文化センター講座

## 農作業支援

農家さんの多い大ヶ生地域で自分  
にできること。ご近所さんのお手伝  
いがきっかけとなり、段々と地域の  
皆さんから声をかけてもらうように。

種蒔き、田植えの季節は日ごとに農  
家さんを回り、ネギやキュウリ、ト  
マトの定植、草刈り、除草剤撒き、  
りんごの摘果・葉摘み・収穫作業。



## 地域行事への参加

地域に住んで暮らすという事は、地域の一員になるということ。行事への参加によって、人間関係や協力隊の活動の幅も広がる。

上大ヶ生・下大ヶ生地域、公民館役員会の参加、年4回の地区の草刈り、田植え前の側溝掃除、春の登山道整備、金山坑道跡への日本酒熟成イベントのお手伝い、地元消防団への入団など。



## 大ヶ生山伏神楽

大ヶ生には高江柄念仏剣舞、大ヶ生高館剣舞、城内さんさ踊り、そして大ヶ生山伏神楽と四つの郷土芸能が伝わる。

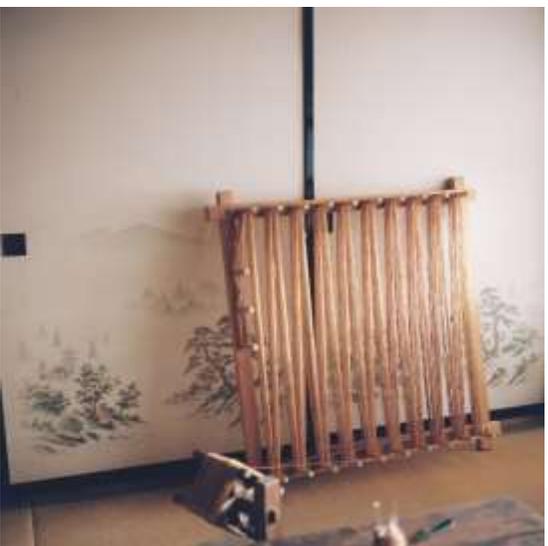
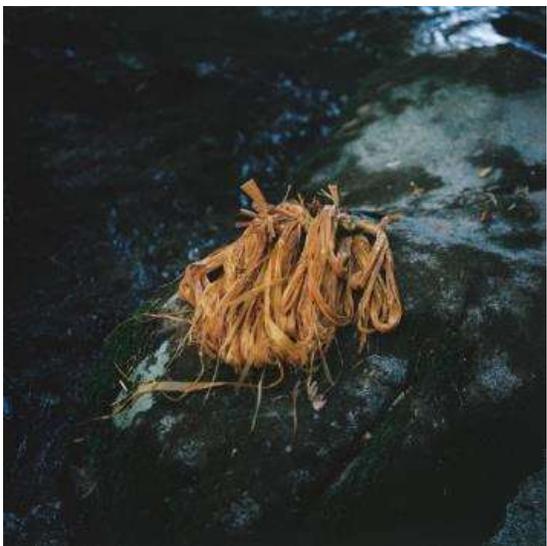
これまでに五演目を習得し、地元  
の例大祭で奉納。その他、都南村合  
併記念催事・披露宴での公演、今月  
末にはもりおか郷土芸能フェスティ  
バルへの二回目の出演も予定。



## 樹皮の工芸品製作

農閑期、素材から大ケ生地域で採れるもので、冬の手仕事ができたらと、樹皮を活用した布製作を始める。

先進地域への視察、毎年初夏には樹皮採取のワークショップを開催、  
≡≡文化センターでの講座も行う。約一年の加工工程を経て、布を織る。



# 映画上映会開催

曲り家の空間を活用した催しの開催。着任当初、自己紹介も兼ねて地元が舞台となった映画「タイムグラバちゃん」、二年目は、布を織ることをテーマとした映画「からむしのこえ」を上映。

その他、絵画の展示やイベントスペースとしての活用も行う。

映画「タイムグラバちゃん」  
大ケ生上映会

・12月11日（土）こあらかまど（小屋敷さん漁家）  
・12月12日（日）上大ケ生公民館

・午後2時から（13時開場）

※子供は対象外・入場無料です。当日、公民館等に出席してください。  
※観覧料のない方もいらしては結構です。観覧料のない方は当日の観覧料としてお返しをさせていただきます。  
※大ケ生公民館の併設の併設はございません。当日、会場へお問い合わせください。

タイムグラバちゃん 映画の魅力を伝える。上映会2日間、ご観覧ください。当日、11日は大ケ生公民館に、12日は上大ケ生公民館に、上映いたします。観覧料のない方もいらしては結構です。観覧料のない方は当日の観覧料としてお返しをさせていただきます。観覧料のない方は当日の観覧料としてお返しをさせていただきます。




山、畑から糸をうむ

からむしのこえ

映画「からむしのこえ」上映会/こあらかまど  
2022.12.10-11 入場無料/要予約

上映時間：10:00-11:35 am / 14:00-15:35 pm (12月11日)  
上映時間：10:00-11:35 am / 14:00-15:35 pm (12月10日)

○10日（土）  
午前の部 10:00～11:35 am  
午後の部 14:00～15:35 pm

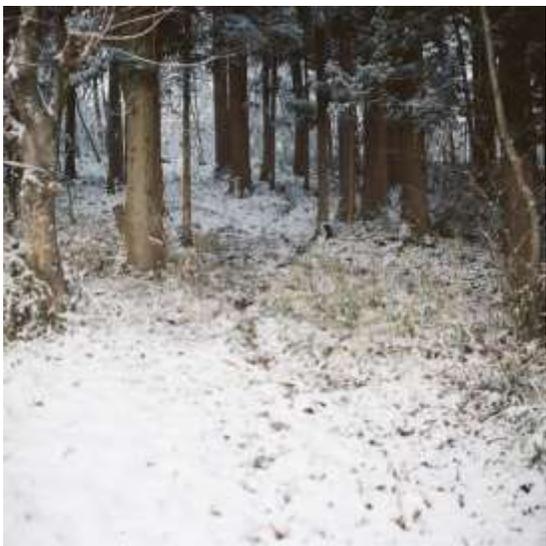
○11日（日）  
午前の部 10:00～11:35 am



## 狩猟免許の取得

県内外で課題となっている獣害問題。その実情を知り、少しでも対策に参加できたらと一年目の秋に罠免許を取得。地元猟友会にも入会し、昨年・今年と二回の猟期を経験。

罠の設置からナイフでの止め差し、解体そして調理まで、一連の工程を  
実践。



## 地域の外への発信

普段の活動や、大ケ生地域のことについて、地域の外へ発信することも協力隊の活動の一つ。

先輩協力隊と地域の魅力を発信するチラシや冊子を作成、地元情報誌「やさら」への連載も三年間行う。盛岡のミニコミ紙「てくり」や「盛岡という星で」のウェブ記事取材も受ける。



## 地域の記録撮影

各家で伝え続けられている、郷土食やお正月飾り、お盆行事。それらは、「大ケ生らしさ」の重要な一つである一方、生活習慣の変化や高齢化により、年々無くなりつつある。

全てを継承することは出来なくとも、今ある景色を写真で残せたら。



# 大ケ生の写真展と神楽公演

先日の九月十六日から二十三日までの一週間、曲り家「こあらかまど」を会場に大ケ生地域の写真展を開催。

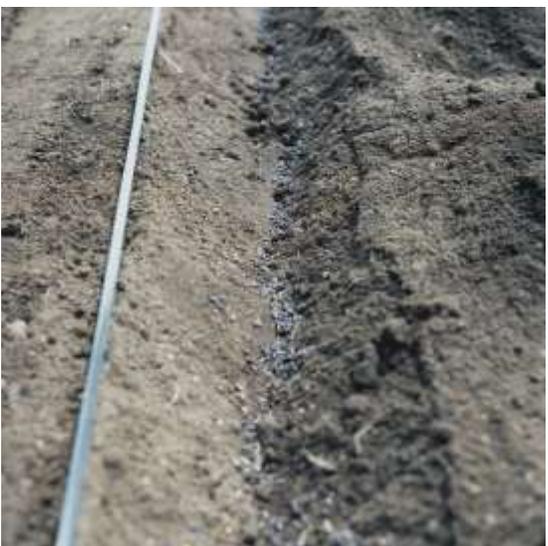
三年間の活動の集大成として、初日は大ケ生山伏神楽の公演会も行い、地域内外からたくさんのお客様にご来場頂いた。

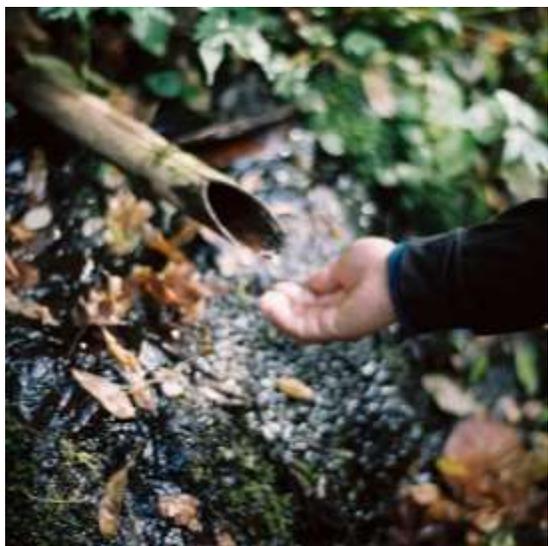


## 三年間の活動から

大ヶ生地域は、交通の便が良いとは言えません。担い手のいない農地、シカやクマの獣害被害、若い世代の都市部への流出。さまざまな課題も活動の中で見えてきました。

しかし、ここには人が暮らしていく「きほん」の姿が残っているように感じています。





お米、野菜は家の前の田畑から。台所には沢や井戸の水が流れ、山の木がお風呂や薪ストーブの燃料となります。

草刈りや除雪はご近所同士で助け合い。自然に近い暮らしでは、人と人との距離感も近くなるのかもしれない。

エコや持続可能、という言葉の無い時代から、ここでの暮らしは小さくも今の時代へと受け継がれ、伝えられてきました。



三年の間で嬉しい変化にも出会う  
ことができました。お父さんを継いで  
農家になられた息子さん、ご両親の  
家の脇にお家を構え、暮らし始めた  
ご家族。大々生地域に魅力を感じ  
移住された方々。

そして、地域の皆さんの為に自分  
に何ができるだろうと、日々模索し  
ながらの活動でしたが、気が付けば  
自分の挑戦したいことに、皆さんが  
応援して下さいました。



三年間、たくさんの皆さまから、  
ご支援・ご協力を頂き、今日まで活  
動することができました。  
心より感謝申し上げます。

盛岡、大ケ生。この地で過ごした  
時間と経験を糧に、次なる地でも精  
進して参ります。

ありがとうございました。